

# あみだじ 阿弥陀寺 だより

2019年9月1日 第42号

金剛山 阿弥陀寺

発行人 大谷 義文

〒861-2235 熊本県 上益城郡 益城町 福富 916

TEL (096) 289-0424 FAX (096) 297-9161

E-mail amidaji@jcom.zaq.ne.jp

ホームページ [金剛山阿弥陀寺](#) 検索

郵便振替: 01710-8-68921 加入者名: 阿弥陀寺事務所



あばけ合宿 2019 in 阿弥陀寺 8月16日～18日

鎮まれ、我が魂よ

大谷 義文

京都、木屋町通三条に瑞泉寺という浄土宗の寺院がある。時の関白、豊臣秀次公とご一族の公開処刑が行われ、その菩提を供養しているお寺だ。

ご住職は、イラストレーターとしても広くご活躍されている、中川学さん。

先日、瑞泉寺さまのイベントに参加した。途中、ゲストとのトークタイムがあり、「ご住職は、芸能に関わるイベントをよく催されますか、理由は」と質問された。ご住職は「秀次公は、芸能に敬意を払っていた方ですので、奉納と鎮魂です」とお答えになつた。

鎮魂とは、魂を鎮める意である。「たましい」とは、目には見えない。ところが「大和魂」と言うように、地域やグループの名を付け鼓舞すると、沸々と力が湧き上がつて、彼岸会にて念佛申そう。

くる。しかし、それは時として、鎮めなければ大事に至る。

秀次公、その一族の処刑に至る物語は悲しい。こんなことがあるのかと涙する。しかし、それが人間であることを物語が教えている。

時同じく、京都の某所が放火され多くのいのちが奪われた。昨今、この不可解さが気になる。人の魂が暴れているからだ。イベントの最後は、読経。「皆さまも合掌を」中川住職の声に、一同手を合わせた。回向文、念佛が繰り返される。そう、鎮魂をしているのだ。秀

次公の供養をご縁に、我が心に燃え盛る、怒り、ねたみを鎮めてもらう。

その日のイベントとは、「百物語」朗読の会だつた。それは、人の魂が暴れた故の怨念でもあつた。

## 佐土原本店

熊本市東区佐土原1-12-1(佐土原バス停前)

電話 096-360-8488

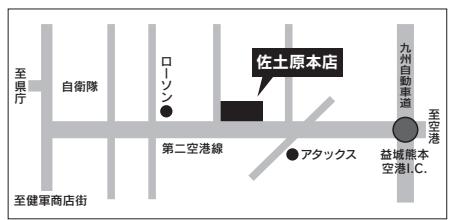
営業時間

毎日/11:00～15:30(オーダーストップ15:00)

夜/17:00～21:30(オーダーストップ21:00)

定休日/毎週火曜日(祝日の場合翌日振替)

7・8月、12・1月は不定休



<http://www.kawasen.jp/>



「おはげ合宿」で印象的だつたのは、6年生男子です。昨年とは見違えるほど身長が伸び、言動も少し大人になつていました。常におんぶをせがまれ、じやれ合つたことが思い出されます。

参加。しつかりした兄の姿を見せたいのかなと感じました。

しかし、もう甘えてこないと思うと寂しく思つていきました。ところが、合宿が始まつたと同時にあのやんちゃさが戻つてきたのです。先ほどまでの感動を返してくれ、と思いましたが、嬉しさや

「use」は、ビルの影響が強く、立体的な音構成や、音響はビルのアイデアが色濃く刻まれており、ビルの存在なしには恐らく誕生しなかつたかもしない。

しめ続け生涯を閉じた。そこに残した音楽は、自己を犠牲にしてでも人間に美と休息を与えた。も燁然と輝き続けておる。今後決して生まれることはない。



8月16日から18日まで、毎年恒例の「こどもおばけ合宿」が開催された。開会式、おばけ博士の東雅夫先生から「世の中には目に見えないけれど大事なことがあります。おばけはそれらが形を表

したのです」とあいさつがあつた。  
その後、子どもたちから、おばけに関する質問が相次いだ。

不思議と最初から出る子もいる。



# おばけ合宿 in あみだ寺



ました。小雨の降るなか、川村君と軽トラックで竹を取りに行きました。新しくもなく古くもなく、ちょうど良い竹を見つけて、根元から切り慎重に倒します。適度な長さに切って荷台に乗せ、繩で縛りました。去年までは言つれるままでして

が、今回は責任があります。先輩がノコギリをどう握っていたか、繩をどうやつて縛っていたか、必死に思い出して作業しました。泥だらけになつて、ようやく寺へ運びました。

『御修行奮闘記』



唐草サ行（大木歌子）楓組主  
「NHK俳句王国が行く」  
天賞 夏井いつき

月まだか  
銀の色足す  
宇土櫻

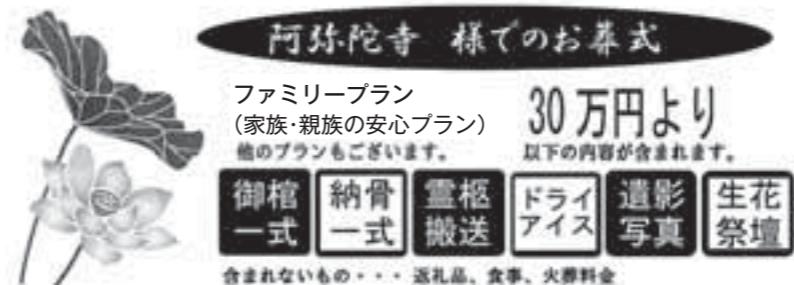
# 生書道教室

指導者 生 春翠・勝弘

〒862-0910 熊本市東区健軍本町6-10 電話 096-369-1138

成人部

**生徒部**



想いを込めた送り方  
相送の木山葬儀社

お問い合わせは！（24時間）  
益城町宮園 547-3 096-286-4640  
携帯 080-5214-4640  
メール info@kiyamasougi.com

# 秋彼岸会法要

日時・9月22日(日) 午後1時30分から読経

※5時から懇親会 参加費1000円

法話・死者の声を聴く芸能

琵琶法師『耳なし芳一』『平家物語』

講師・安田登師(能楽師)

塩高和之師(琵琶奏者)佐藤路子師(俳優)

## 寺子屋「語りの秋」

※4時から懇親会 参加費1000円

日時・11月3日(日)文化の日 午後2時~4時

講師・安田登師(能楽師)

玉川奈々福師(浪曲師)

沢村豊子師(曲師)

❖演目は当日のお楽しみ!たっぷり、2席!

平成の三十余年間に生み出された名作を精選して、全三巻に収録。最高の作家たちによる至高の怪奇小説傑作集の第一巻は、平成元年発表の吉本ばなな「ある体験」から十年の宮部みゆき「布団部屋」まで全十五作。

男」は、未明童話の既成イメージを吹き飛ばす奇想横溢の快作。このほか『妖魔たち』『娘たち』『少年たち』『北辺の人々』『受難者たち』『マレビトたち』の章立て。どこか懐かしさを醸しつつも突き落とされる感覚に誘う。

❖演目は当日のお楽しみ!たっぷり、2席!

表題作「電信柱と妙な男」は、未明童話の既成イメージを吹き飛ばす奇想横溢の快作。このほか『妖魔たち』『娘たち』『少年たち』『北辺の人々』『受難者たち』『マレビトたち』の章立て。どこか懐かしさを醸しつつも突き落とされる感覚に誘う。

### 猫伏石の声

#### ○法話会

10月20日(日曜日)

大谷義文

柄原真人・川村智明

#### ○もちつき

12月30日(月曜日)

午前9時から

#### ○報恩講

1月12日(日曜日)

宗祖、親鸞聖人のご法事です。お参り願います。

お斎がございます。

法話木村俊尚師

梵行寺住職(新潟)  
柳家松太郎師匠

## 寺子屋「歳暮の会」

日時・12月22日(日)

午後2時~5時

※5時から懇親会 参加費1000円

講題・「お釈迦さまと私たち」  
講師・安田登師 東雅夫師  
講師・大島淑夫師 ヲノサトル師

※まだまだたくさんの方、出演予定です。

### 図書紹介



文豪怪異小品集シリーズ、第8弾

小川未明怪異小品集

『電信柱と妙な男』

『平成怪奇小説傑作集1』

東雅夫〔編〕

発行所創元推理文庫

定価1300円+税

『電信柱と妙な男』

東雅夫〔編〕

発行所平凡社

定価1500円+税

## 葬儀・祭壇 熊本県儀式共済株式会社

ハタオ葬儀社

## 水前寺斎場

熊本市中央区国府1丁目12-3  
TEL.096-364-3220

ハタオ葬儀社

## しみず会館

熊本市北区清水新地7丁目4-27  
TEL.096-342-5657

豊住葬祭

## 豊住葬祭斎場

熊本市中央区河原町23  
TEL.096-324-4848